

2021年度通常公募 団体情報シート			
団体名	特定非営利活動法人 碧いびわ湖		団体web サイトURL http://www.aobiwako.org
主 題	申請事業名 あらゆる子どもの育ちを保障する地域総動		申請受付番号 220146
副 題	多様な人々の参画で、不登校でも孤立せず育ち学べる地域をつくる		申請事業の分類① ①-1 草の根活動支援事業
			申請事業の分類② ①-2 地域ブロック
			申請事業の分類③ 近畿ブロック(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)
優先すべき社会の諸課題選択科目			
領域①	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	領域②	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
分野①	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援	分野②	⑤ 孤独・孤立や社会的差別的解消に向けた支援
	② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援		⑨ その他
領域③	③ 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動		-
分野③	⑦ 地域の働く場づくりの支援や地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援	領域④	
	⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	分野④	
	-		-
申請事業概要			
<p>●概要</p> <p>学校になじめない子どもたちと地域の人々との関わり合いを生み出し、子どもたちと顔なじみの人々を地域に増やす。子どものニーズに応じ、地域の人々の協力によって、地域の建物、田畑、自然環境などを活かして多様な居場所や学びの場を創る。活動の持続と発展を担保するため、県域のコミュニティファンドの設立体制を整えるとともに、公共政策化を進める。</p> <p>●実行団体の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 活動拠点の整備と、学校になじめない子どもと保護者の居場所の形成 2) 地域の人々と子どもたちとの関わり合いの創出 3) 地域の人々の協力による多様な居場所や学びの場の創出 4) 地域への情報発信と、活動の発展のための寄付募集 5) 学校や行政との対話、活動を継続させるための公共政策化 <p>●資金分配団体の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実行団体の活動全般についての助言、研修支援、専門家の派遣 2) 実行団体の相互学習や交流の場の設置、関係構築の促進 3) ホームページや公開イベントでの活動の可視化と発信 4) 県域での寄付募集とコミュニティファンドの設立準備 5) 公共政策化の支援 			

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2009/06/19
	法人格取得年月日	2009/06/19
2	●団体概要	
	団体概要	1970年代に琵琶湖のせっけん運動を担った住民組織を母体として、1989年に設立された滋賀県環境生活協同組合が前身。共同購入、リサイクル、住まいづくりなどの持続可能な暮らしを支える事業を行うと共に、市民メディアの発行、子どもの野外活動や環境学習支援などの地域づくり事業を行っている。いずれの活動も、多様な市民、団体、行政、企業、専門家、教育機関等との多層的な対話と協力のもとに実施している。
3	●代表者情報	
	代表者名	村上 悟
	代表者の役職	理事
	代表者名 2	
	代表者の役職 2	
4	●役員	
	役員の数	114人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の人数	3人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	0人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	4人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	0人
	常勤・有給・無期	3人
	常勤・無給(有期・無期)	0人
	非常勤・有給・有期	0人
	非常勤・有給・無期	1人
	非常勤・無給(有期・無期)	0人
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	異なっている
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	はい
	2.業務別に区分経理ができる体制である	はい
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事で実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	休眠預金事業 草の根活動支援事業 (2021-) 5事業
2	前年度の助成総額 (円)	総額62,940千円
助成事業の実績内容		
3	<p>特定非営利活動法人碧いびわ湖は助成事業の実績はないが、公益財団法人東近江三方よし基金は以下の実績がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東近江の森と人を支えるあかね基金助成事業 (2019-2020) 11事業 総額3,600千円 ・休眠預金事業 新型コロナ緊急対策活動支援事業 (2020-) 12事業 総額110,000千円 ・休眠預金事業 草の根活動支援事業 (2020-) 3事業 総額30,450千円 ・休眠預金事業 草の根活動支援事業 (2021-) 5事業 総額62,940千円 <p>これらの活動により、地域の多様な主体の参加と連携を創出し、地域の総動による孤立解消が進められている。本事業においても、同様のアプローチを基本的な考え方においている。</p>	